

《 競技注意事項 》

1. 規則について

本大会は、2024 年度日本陸上競技連盟競技規則及び大会申し合わせ事項による。

2. 競技場について

競技場の開門時間は 7:30 である。(予定)

競技場は、全天候舗装である。スパイクピンの長さは 9mm 以下とする。ただし、走高跳、やり投のピンの長さは 12mm 以下とする。これらのスパイクピンの直径は、先端が 4mm 以内、スパイクのピンの本数は 11 本以内とする。走路の保全と競技者の安全のため、競技規則 TR 5 を厳守すること。

3. 練習について

練習は、競技役員の指示に従って、補助競技場内で行うこと。フィールド競技の練習は、招集完了時刻を過ぎてから競技場内で行うことができる。特に、投てき練習は、競技役員の指示に従って、試技順に競技場内で行うこと。

最初の競技開始 30 分前まで主競技場を練習に開放する。その際、1～3 レーンは周回練習、5～8 レーンはスピード練習とする。ただし、ホームストレートの 7・8 レーンはハードル練習とし、4 レーンにコーンを設置する。なお、競技役員及び競技者以外は、トラック・フィールドに立ち入らないこと。

※ フィールド種目の練習開始時刻は、競技役員の指示に従うこと。

※ 競技場以外のいかなる場所でも器具を用いた練習は禁止する。

※ 公園内および駐車場内での練習は禁止する。

4. 招集について

- ・招集は招集所（競技者係）において本人が受けること。その後現地で最終チェックを行う。
- ・招集場所は 100m スタート地点付近のダッグアウト内に設ける。
- ・招集時間は競技日程に記載された通りとする。招集時刻に遅れた者は欠場とみなし出場を許さない。
- ・男棒高跳の招集は競技日程記載の時間に現地で行う。
- ・招集はアスリートビブス確認のため、必ずユニフォームを着用して受けること。
- ・2 種目同時に出場する競技者は、予めその旨を本人または代理人が競技者係に申し出て「同時出場届」を受け取り、必要事項を記入のうえ提出する。

5. アスリートビブスについて

- ・アスリートビブスは、主催者が用意したままの状態（縦 16cm、横 24cm）で使用し、安全ピンは各自で用意すること。
- ・跳躍種目では、アスリートビブスを背または胸につけるだけでもよい。
- ・トラック種目の出場者は、招集所（競技者係）においてレーン番号の腰ナンバー標識を受け取り、右腰やや後方につけること。
- ・3000m の出場者は、招集所（競技者係）でレーン番号の特別ナンバーカードと腰ナンバー標識を受け取りそれぞれ胸・背と右腰やや後方につけること。
- ・リレー競技において、4×100mR の 4 走者、4×400mR の 2～4 走者は、レーン番号の腰ナンバー標識を受け取り、右腰やや後方につけること。
- ・腰ナンバー標識、特別ナンバーカード共に競技終了後は返却せず、各自で持ち帰ること。
- ・アスリートビブスを紛失または忘れた者は本部にて再発行を受けること。（2枚 500円）自作のアスリートビブスは認めない。

6. トラック競技について

- ・予選の組・レーン順については主催者が抽選し、プログラムに記載する。
- ・予選ラウンドのある決勝の走路順は、本部で抽選し、招集所に掲示する。（2024 年度競技規則 TR20.4 による。国内ルールは適用しない）
- ・トラック競技は、すべて電気計時（1/1000）とする。

- ・同タイムの競技者については、写真を細部まで読み取り優劣を判定する。判定できない場合は、同タイムの競技者によって抽選とする。
- ・少年男子B 1 1 0 m J Hの高さは0.991m、インターバルは9.14mとする。
- ・少年女子B 1 0 0 m Y Hの高さは0.762m、インターバルは8.50mとする。
- ・記録会 1 1 0 m J Hの高さは0.991m、インターバルは9.14mとする。
- ・記録会 1 0 0 m Y Hの高さは0.762m、インターバルは8.50mとする。
- ・記録会男子 3 0 0 m Hの高さは0.914m、インターバルは35.0mとする。
- ・記録会女子 3 0 0 m Hの高さは0.762m、インターバルは35.0mとする。
- ・リレー競技に出場するチームのユニフォームは、同一チームが確認できるものとする。
- ・トラック競技のスタートの合図は、イングリッシュコマンドで行い、1回目の不正スタートで失格とする。

7. フィールド競技について

- ・フィールド競技の試技順は、主催者が抽選したプログラム記載の順番に従い行う。
- ・次の種目は競技運営上、複数の種別を同時刻に行う。

少年男子B走幅跳・成年男子走幅跳・成年女子走幅跳
記録会男子砲丸投・記録会高校男子砲丸投
少年男子B円盤投・少年女子B円盤投
記録会男子円盤投・記録会高校男子円盤投

- ・跳躍競技のバーの上げ方は、次のとおりである。(ただし、荒天の場合は別途指示する。)

種目	練習	バーの上げ方						
記録会 男子走高跳	1m45～	1m50	1m55	1m60～1m90	1m95	2m00		以後3cm
記録会 男子棒高跳	2m60～	2m70	2m80	2m90～4m80	4m90	5m00	5m05	以後5cm
記録会 女子走高跳	1m15～	1m20	1m25	1m30～1m50	1m55	1m60	1m63	以後3cm

- ・走幅跳・三段跳の助走路は、(A)はトラック側、(B)はスタンド側とする。
※男子三段跳については風向きによって(A)(B)ピットを入れ替える場合がある。
- ・男子三段跳の踏切板の位置は、(A)は砂場から12m00、(B)は10m00に設置する。
- ・女子三段跳の踏切板の位置は、砂場から9m00に設置する。

8. 競技用具について

- ・競技に使用する器具は主催者が用意する。ただし、棒高跳のポール・砲丸・円盤・やりは、各自持参したものを、各競技開始90～60分前までに検査を受けて合格した物は、使用することができる。
- ・記録会高校男子砲丸の重さは、6.000kgとする。
- ・記録会高校男子円盤の重さは、1.750kgとする。
- ・少年男子B円盤投の重さは、1.500kgとする。
- ・少年女子B円盤投の重さは、1.000kgとする。

9. 抗議について

WA競技規則TR 8にもとづき、競技者自身、もしくは代理人から審判長へ口頭でなされる。裁定に不服の場合は、競技者に代わる責任者が抗議申立書と預託金10,000円を総務に提出する。(正式アナウンス後30分以内とする。ただし、同一日に次のラウンドがある場合は、正式アナウンス後15分以内とする。)

10. 欠場について

各種目にやむをえず欠場をする者は、招集完了時刻までに「欠場届」を招集所競技者係に提出すること。「欠場届」は招集所で配布する。

1 1. 助力について

競技場内での助力は禁止とする。スタンドからの助言については、競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。なお、文書をもって連絡することや、当該競技場所を勝手に離れることはできない。また、ビデオ・ラジオ・CD・MD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことができない。(競技規則TR6)

ただし、競技区域外で撮影された映像を見ることや録画再生機器を手にするにはよいが、その際は場所などについて競技役員の指示に従うこと。

1 2. 警告について

- ・競技規則TR7の規定により、違反があった競技者やリレーチームには審判長よりイエローカード（以下YC）を提示し警告を与えることがある。
- ・2回のYCの提示を受けた競技者やリレーチームは失格または競技会から除外される。

1 3. その他

- ・役員・選手以外のトラック・フィールドへ立ち入りを禁ずる。
- ・プログラムの訂正は、速やかに庶務係に申し出ること。
- ・使用した観覧席はきれいにし、ゴミは原則として持ち帰りとする。特に、持ち込んだダンボール紙等は必ず持ち帰ること。
- ・更衣室は、更衣のみに使用すること。各団体の控室のように占有して使用しないこと。
- ・正面スタンドに、横断幕を張らないこと。
- ・応援は、スタンド席で行う。**(スタート時に声を出しての応援は禁止)**
- ・スタンド最前列では、立っての応援は禁止とする。
- ・貴重品の管理は、各団体・個人で責任をもって行うこと。
- ・全競技終了後は、速やかに競技場外に移動し、ミーティング等は競技場外で行うこと。
- ・競技場外（公園内・駐車場・レストハウス）にテント・シート等で占有スペースを設置しないこと。